

ペンギンは受け取りません。

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2381号
(2010年5月6日発行)より

自分の価値が感じられない…。生きていく意味が見えない…。そんな思いで苦しんでいるひとが、たくさんいます。

苦しみは、自分が何に価値を置くかで決まります。

お金に価値を置くと、お金がないときに苦しみます。ひとの評価に価値を置くと、ひとの評価がよくないときに苦しみます。何かできるかできないかという能力に価値を置くと、その能力が手に入らないときに苦しみます。

だから、てばなしなさいと、多くの自己啓発書は言うのかもしれませんが、ちなみに、私も言ったりしてますが。(笑)

でも、どんなときでも、こたえはひとつではありません。その苦しみこそが、生きる

エネルギーだと感じるひとは、おおいに背負ったらいいのです。

実際、苦しみを原動力として、突き抜けていくひとたちもいます。ないものを手に入れるために、全力でがんばるのです。それもひとつの生きかたです。

ただ、同時に覚えておくべき、もうひとつのことがあります。それは、変わらない価値など、何一つないということです。

単純に言えば、お金は、お金を媒体にした経済が動いている場でだけ価値をみとめられます。ペンギンの群れのなかに放りこまれたときには、何の価値もちません。(なぜにペンギンかという、単に私が好きだからです)(笑)

ひとの評価は、そのときどきで、あっさり変わります。これは、価値を置くには、あまりにも頼りないものです。

能力は、ある程度努力で手に入れることができるかもしれませんが、何らかの理由で、その能力がうしなわれてしまったときは、元の木阿弥となってしまいます。

価値が生まれるということは、価値がうしなわれるということと、対になっているのです。生まれたものは、必ず終わるのですから。価値をもとめるということは、それを引き受けることを前提にしなくてはなりません。

早い話、固定した価値があるという概念そのものが、幻想に過ぎないのです。そんな幻想を信じていることができるのは、ある意味で、幸福なことなのです。幻想であるからには、いかようにも、変えることができるのですから。

要は、自分に都合のいい幻想をもてばいいのです。少なくとも、他人(世間)の幻想につきあって、苦しむ必要はないってことです。

このメッセージを読んで、「理屈ではわかるけど、割り切れない!」と、感じるひともいるかもしれません。でも、それもまた、幻想にすぎません。私たちはいつでも、自分が選んだ幻想を生きているのです。

たとえ、他人が押しつけても、自分が選ばなければ、それは自分のものになりません。ペンギンにお金を押しつけても、ペンギンは受け取りません。(笑)

どうぞ、自分が抱えている幻想とは、何であるかに、気づいてください。気づいて、それでよければ、そのままかまいません。そうでないと感じたなら、選び直してみてください。

ただそれだけでいいのです。それだけですべてが変わります。簡単でしょう?

簡単だと思うのも、実は幻想なのかもしれませんが、少なくともこの幻想は、とても楽です。何を選んでいいかわからないってときには、とりあえず、これを選ぶのも方法ですよ♪

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日**創刊。**2010年2月2300号**達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>